

## 第2節 高齢社会対策の動き

### 1 高齢社会対策の総合的な推進のための取組

- 社会保障国民会議  
社会保障のあるべき姿と財源問題を含む今後の改革の方向について、国民目線で議論する場として、平成20年1月、社会保障国民会議が開催された。以降、約10ヵ月間、会議の下で開催された3つの分科会（年金・雇用を議論する「所得確保・保障分科会」、医療・介護・福祉を議論する「サービス保障分科会」、少子化・仕事と生活の調和を議論する「持続可能な社会の構築分科会」）を含め、合計で31回にわたる会議を重ね、社会保障をめぐる様々な課題について議論を行った。
- 社会保障の機能強化のための緊急対策～5つの安心プラン～  
平成20年7月、社会保障の現状に対して国民が抱く不安や不満に鑑み、次の5つの課題について、国民の目線に立ったきめ細かな方策を検討し、緊急に講ずべき対策とこれを実施していく工程について検討を行い、「社会保障の機能強化のための緊急対策～5つの安心プラン～」を取りまとめた。
  - ①高齢者が活力を持って、安心して暮らせる社会
  - ②健康に心配があれば、誰もが医療を受けられる社会
  - ③未来を担う「子どもたち」を守り育てる社会
  - ④派遣やパートなどで働く者が将来に希望を持てる社会
  - ⑤厚生労働行政に対する信頼の回復
- 「健康現役社会」の実現に向けた取組  
平成20年7月、高齢者の安心と活力を強化

し、「健康現役社会」を実現するための方策に関し、各府省が平成21年度概算要求や税制改正要望において取り組もうとしている以下の項目について、主な新規・拡充事項等を取りまとめた。

- ①社会保障制度の「安心」の確保と強化
- ②エイジフリーの勤労環境の整備
- ③高齢者の知恵と経験を活かす仕組み
- ④安心な長寿生活のための資産の活用
- ⑤家族やコミュニティにおける絆の強化
- ⑥新技術による健康寿命延伸

### 2 高齢社会対策の総合的な推進のための政策研究

- 生活実態に関する調査  
高齢者が直面する生活上の困難さを把握するためには、貧困、健康、社会的孤立といった要素を総合的にとらえることが必要であり、今後の高齢社会対策に求められているものを把握し、関係施策の推進に資することを目的として、生活実態に関する調査を実施した。
- 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査  
高齢社会対策総合調査として高齢社会対策の施策分野別にテーマを設定して高齢者の意識やその変化を把握している。平成20年度は、誰もが生きがいを持ち、安心して充実した生活を送ることができる心豊かな長寿社会を築くためには、国民一人一人がそれぞれの立場で地域社会に参加し、協力していくことが重要であるという観点から、高齢者の地域社会への参加に関する意識調査を実施した。